

栢宇土小学校



あゆみ

- 明治 8 宇津木に栢宇土尋常小学校を設置
- 41 現在地に新築・移転
- 昭和 11 新校舎が完成
- 16 栢宇土国民学校と改称
- 29 本渡市立栢宇土小学校と改称
- 40 新校舎が完成
- 同 校歌制定
- 54 体育館が完成
- 平成 18 天草市立栢宇土小学校と改称



亀場小学校



あゆみ

- 明治 8 亀川松林庵に開設
- 15 新涯に校舎を新築・移転
- 35 通山に校舎を新築・移転
- 大正 6 通山と新涯に校舎を新築・移転
- 9 亀場尋常高等小学校と改称
- 昭和16 亀場国民学校と改称
- 22 亀場小学校と改称
- 29 本渡市立亀場小学校と改称
- 42 校歌制定
- 48 鉄筋3階建ての新校舎が完成
- 52 体育館が完成
- 平成 18 天草市立亀場小学校と改称



昭和26年度卒
井上 善徳 さん
(栢宇土町・72歳)

昭和21年の春、かすりの着物にげたをはいての入学式、ぬくもりのある木造の校舎、「カーン、カーン」の鐘の音で授業が始まり、フタ付きの机と木のいすで学んだ事を思い出します。校庭にある大きな柳の木やせんだんの木の下で、みんなと走り回った事が今でも懐かしい思い出です。

小学校はなくなります、子どもたちはそのまま。これからも温かく見守っていきます。

ありがとう栢宇土小



最後の卒業生 (=写真左から)

〔上段〕山下 優花さん・山崎 雄次さん・原田 晃太郎さん
〔中段〕大田 遥菜さん・小原 健矢さん・松本 享さん
〔下段〕長川 杏樹さん・亀子 竣さん・山下 紗奈さん

人数は少ないですが、栢宇土小学校で9人の仲間とずっと学校生活を送れたことが宝物です。すばらしい仲間と出会わせてくれて、たくさんの思い出を刻ませてくれた栢宇土小、ほんとうにありがとう。

閉校になっても、栢宇土小を大切に思う仲間と、これからも支えあって、きたえあって、成長していこうと思います。

(大田遥菜)

9人の仲間との学校生活は宝物



昭和18年度卒
三浦 義久 さん
(亀場町亀川・82歳)

昭和10年に、亀場尋常高等小学校に入学しました。当時は戦時下であり、5年生のころに海洋少年団として天草、河浦、牛深、新和を3泊4日で歩く、天草下島半周の鍛錬旅行を経験したことが、印象に残っている思い出のひとつです。

亀場小学校が閉校になるということで、少子化など時代の変化を感じています。

海洋少年団での鍛錬旅行が思い出



昭和51年度卒
加藤 晶子 さん
(亀場町亀川・47歳)

木造・鉄筋の新旧両方の校舎で学びました。印象に残っているのは、十万山まで登るお別れ遠足。行きは道路を歩いて登るのですが、帰りは草木が生い茂る狭い山道を下るルートで、その道のりの激しさは今でも忘れられません。

また、亀場小の校歌が大好きでした。その校歌がなくなってしまうのは、少しさみしいですね。

亀場小の校歌が大好きでした



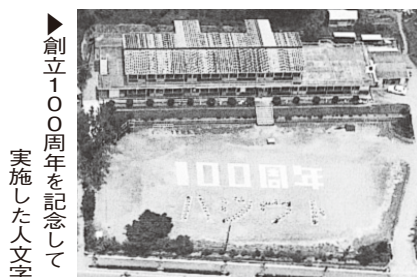
最後の卒業生
長元 賢正 さん
(亀場町亀川・12歳)

今年、ぼくたちは思い出がいっぱいつまった亀場小学校を卒業しました。ぼくたちをここまで大きくしてくれた亀場小学校。勉強だけでなく、思いやりや協力の大切さなど、たくさんのことを教えてくれました。この母校がなくなるのはとてもさみしいですが、これからも自分の夢に向かって新たな一歩を歩んでいこうと思います。

思いやりや協力の大切さを教えてくれた亀場小



旧校舎



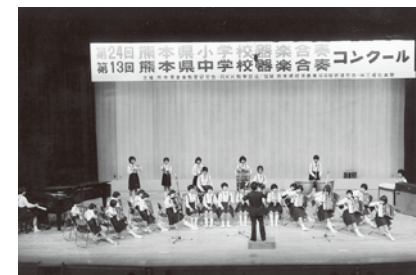
創立100周年を記念して
実施した人文字



2月26日に開かれた閉校式で
校歌を斉唱する児童



▲同校・海洋少年団の集合写真
(昭和16年ごろ)



▲昭和55年に器楽合奏部が
県器楽合奏コンクールに出場



▲2月19日に開かれた閉校式で
校旗を収納するようす